

一般社団法人 長岡青年会議所

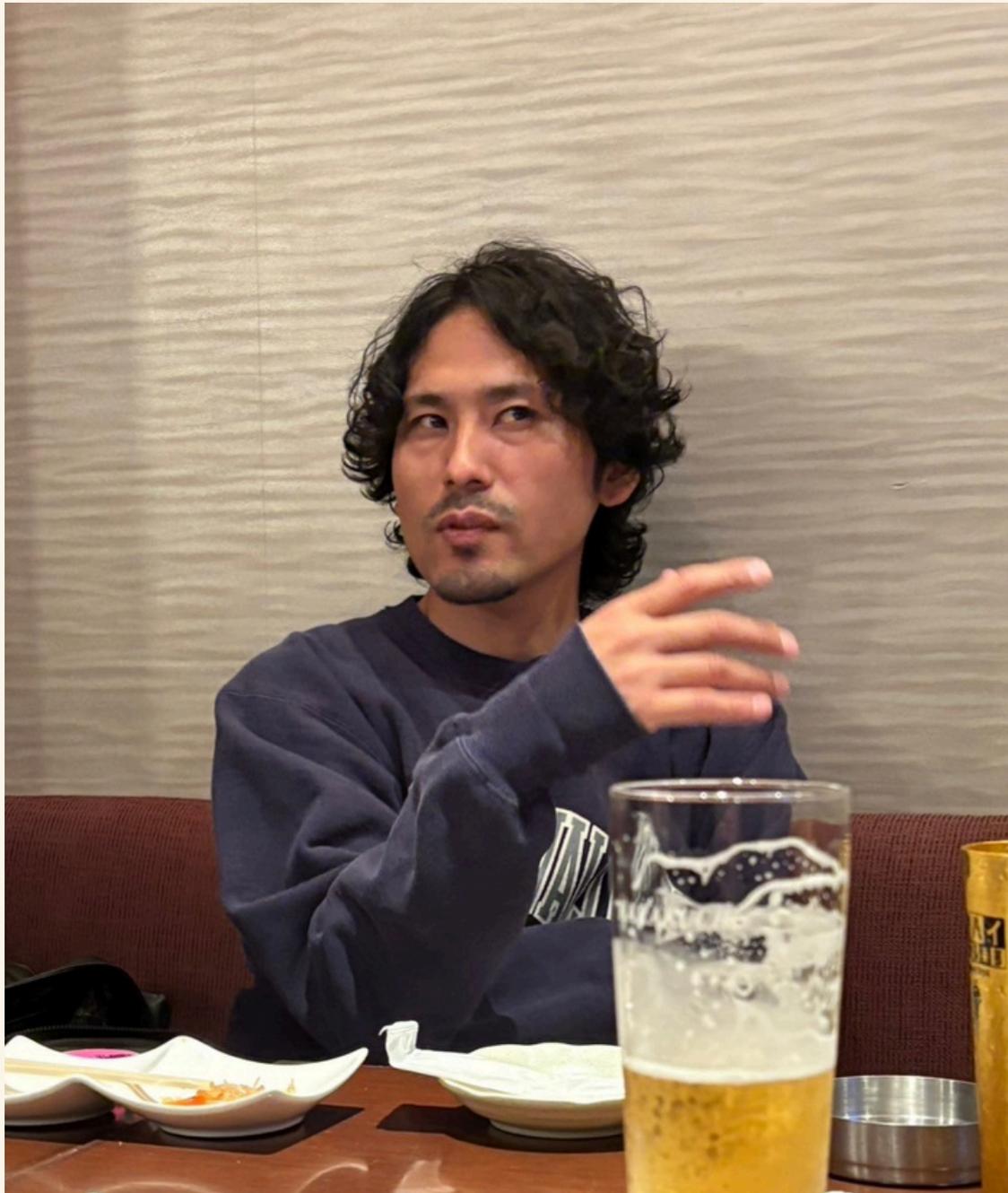
12月例会

羽ばたくリーダー～受け継がれるJCの魂～

会員 **NO.35**

YUSAKU KISHI

岸 雄 策



一般社団法人 長岡青年会議所

12月例会

羽ばたくリーダー～受け継がれるJCの魂～

活動年表

氏名	岸 雄策		正式 入会	2018年 12月26日		出席率	
年号	所属委員会	理事	日本JC	地区協議会	ブロック	前期	後期
2019	絆委員会					57%	71%
2020	人財育成委員会					100%	86%
2021	人財育成委員会					86%	100%
2022	青少年委員会					100%	86%
2023	人財成長委員会 副委員長	。			共創のレジリエ ンス委員会 委員長	86%	100%
2024	共感拡大委員会 委員長					100%	

インタビュー



JC活動で一番印象に残っていること、印象に残っている例会を教えてください。

印象に残っているのは、入会3年目くらいの時のバブルサッカーの事業です。

JCに入られたきっかけを教えてください。

ちょうど独立した頃に金子隼人先輩に声をかけてもらい、お店の集客も兼ねて入会しました。

一般社団法人 長岡青年会議所

12月例会

羽ばたくリーダー～受け継がれるJCの魂～



JCに入ってからからの失敗談を教えてください。またその失敗はJC活動以外にも活かされましたでしょうか。

今年度委員長を受けたタイミンでブロック大会の準備でそれぞれころじゃなくキャパオーバーだったので一年間のビジョンをたてるのがしつかりとできなかった。結果メンバーに迷惑をかけてしまった。準備が大切だと改めて痛感した。



JCに入られて、成長を実感したと思ったのはどんな時でしたか。また、成長に繋がったと思った事業があれば教えてください。

何事も積み重ねだと思えます。小さなことでもコツコツ積み重ねれば大きな成果となるでしょう。塵も積もれば山となる。チリツモ！
パワーポイントなどのPCソフト関係はJCがあったから始めた。それによりキャンバを始める際も入りやすかった。



JCで与えられた役職に対し、どのようなモチベーションで活動していたのか教えてください。受けて良かった点を教えてください。

信用作りです。何事もやりきる・逃げないを貫けば、信頼してもらえると思えました。
ブロックに出向したおかげで、小千谷の人と仲良くなった。

一般社団法人 長岡青年会議所

12月例会

羽ばたくリーダー～受け継がれるJCの魂～



JCの活動において、やり残したことはありませんか。また、何故そう思われるか教えてください。

やり残したことはないです。やりたかったことは会員拡大を1年間全フリでやってみたかった。

卒業後長岡に対してどのように貢献していこうと考えていますか。そして、どんなリーダーとしてあり続けていきたいですか。

より長岡に必要なビジネス活動をしてほしいです。こうゆうのがあったらいいなと思っているものを。会社が大きくなったら、一生懸命にボランティア活動をしたいです。



JC卒業までにこれだけはやっておけ！
後輩メンバーへ熱いメッセージを下さい！

役は受けた方がいいと思います。チーフは最低やった方がいいので、一生懸命受けた任務を全うしよう！



一般社団法人 長岡青年会議所

12月例会

羽ばたくリーダー～受け継がれるJCの魂～



これまでのJC活動の中で、思わず泣きそうになったエピソードはありますか？
ブロック大会の時、映像が流れてストーリー性があってグッときました。

会員拡大において、**一番重要だと思うことを教えてください。**
入会させるには順序が大切です。知らない人に入ると言われても入らないです。まずは関係を作るところから。
そしたら入会した後も一緒に活動してください。
共感拡大流会員拡大術書に全て記載しましたので参考にしてください。



私たちが取材しました

私、**中澤 達也**、**小島 義瑛** が
インタビューさせていただきました。



中澤 達也

岸委員長のインタビューをうけて、「なんでも一生懸命にやるべきことをやる」という事を後輩メンバーに伝えたいという想いが伝わってきました。私は来年チーフなので、与えられた使命をがんばっていきたくていました。

岸御卒業生のインタビューから「全力でやる」「逃げずにやりきる」ということの大切さを改めて実感しました。役職をなんとなくこなすのではなく、たとえ結果的に失敗したとしても逃げずに全力で全うすることで、自身の成長だけでなく、周囲からも信頼を得ることができると思いました。次年度も全力でやろうと改めて決意する機会となりました。



小島 義瑛